



# きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

## 「申年」

旭町小学校長 道山 正史

平成28年(2016年)を迎えました。明けましておめでとうございます。本年も昨年同様、旭町小学校の教育活動にご理解とご協力・ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

約2週間の冬休みが終わり、元気な子供たちの声が学校に戻ってきました。それぞれのご家庭では、年末の大掃除をしたり、またゆっくりと家で過ごしたり、家族で初詣に行ったり、福袋を買いに行ったり、おじいちゃん・おばあちゃんのところへ行ったり、旅行に行ったりと様々な年末年始の過ごし方をなされたと思います。子供たちはきちんとその場にあった挨拶をしたり、お行儀良くしたりできたでしょうか。外行きの顔をしなければならなかった経験も多かったのではないかと思います。その場、その時にあった言動をとることができるようになるよい機会であったと思います。

本校では「返事」「挨拶」「後始末」の3つを生活指導の基本にしています。名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「ありがとうございます」「よろしくお願いします」「さようなら」などなど、時と場に応じた挨拶をする。次の人のことや皆のことを考え、また自分の次の準備のために後始末をきちんとする。これは、いつの時代にも生きていくうえで必ず必要なものであり、変わらないものだからです。大人になったときに、特に社会人になったときに、周りに迷惑をかけない、人と気持ちよく接することができる、能率よく仕事ができるなど基本的な社会的スキルを身につけていなくてはなりません。そのために、今から機会をとらえてしつけをしていくことが大切です。「子供のしつけ」について家庭、地域、学校、三者一体となって取り組んで参りましょう。

さて、本年は申年。元気良く校庭で飛び回る子供たちの姿が見られることでしょう。新たな年が、子供たちにとって良い1年になるよう、しっかりと「一年の計」をたてさせる中で、4月の進学、進級にむけて備えてまいりたいと思います。子供たちがたくさんの興味・関心を持ち、知恵をはたらかせ、充実した学校生活を過ごすことができるよう、教職員一同努力してまいります。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

